



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成25年7月

うるわし通信

うるわしの桜井をつくる 25年度がはじまります

第4回定期総会は6月23日(日)纏向小学校の一室をお借りして午後1時より開催しました。来賓として松井市長も出席され祝辞をいただきました。

冒頭に堀井良殷会長が今年度の目標として「日本の再生復活のためには、より一層の地域の自立と民による活力が求められている。奈良県内においても記紀万葉プロジェクトを始め意欲的な計画が展開され、桜井市においても歴史文化基本構想が進行している。うるわしの桜井をつくる会ではこうした動きに即応し、市内で既に始まっている各取組と連携し、これまでの実績を踏まえた継続事業や官民学協働事業を推進する。具体的には各部会が複数のプロジェクトに参加する形で以下の事業に取り組む。」と述べ、次に浅川肇を議長に選出して、決算予算の審議に入りました。本年度の活動計画として中尾七隆常任理事より説明があり、新たな課題としてプロジェクトへの取り組みが提議されました(詳細は2~3ページ)議案すべてが承認可決された後、午後2時より纏向学研究センター所長の寺沢薫氏による「卑弥呼の時代」と題する講演があり、寺沢氏は邪馬台国は纏向にあっただろうと推論され、卑弥呼は倭国の女王(大王)と述べられました。

その他、興味深い話も多く、会場からは、雄大な箸墓古墳も見え、とてもいい雰囲気、会員以外の方も含めて80名の聴衆が熱心に聞き入りました。その後引き続き発掘現場に場所を移して、現地説明会がありました。

ちょうど総会の前日に、「纏向遺跡」が「史跡名勝天然記念物」の指定を新たに受けたと、各新聞が大きく報道したこともあり、とても意義深い講演会でした。その内容は次号で紹介したいと思います。



プロジェクトへの取り組みについて①

うるわしの桜井をつくる会常任理事 中尾七隆

現在、歴史まちづくり法と連携して進められている「桜井市歴史文化基本構想」（詳しくは次回以降でレポートします。）この構想は、うるわしの桜井をつくる会が目指す理念とも合致しています。策定まで、あと2年ですが、すでに、できることから実行しようと、「桜井記紀万葉プロジェクト事業」や「文化庁の文化遺産を活かした地域活性化事業」などがスタートしました。

○プロジェクト1；七夕まつり

歴史街道(桜井市本町通り商店街)を活かしたイベント

桜井市本町通り1丁目が核となり、2003年から始まった「昔なつかしい夜店を再現している第11回七夕まつり」は、規模は小さいながら、年々来訪者数のみならず、運営に関わる人も増えています。昨年度から実行委員会了解のもと、奈良県立大学、やましん、県職員と市職員有志、各NPO等まちづくりや福祉・教育関係団体も参加し、自治会と来迎寺の協力も得ながら、2丁目まで拡大し、内容・企画・価格を含め、したい人が参加するイベントとして進められています。



○プロジェクト2；HANARART 記紀万葉プロジェクト(その1)

さらに、桜井本町通りとその周辺では、七夕まつり以外に、今年11月には、自治会・周辺住民の皆様方の協力のもと、HANARARTという「町家芸術祭」と「記紀・万葉」県民活動支援補助金に採択されたプロジェクト事業；古代へ誘う光のプロジェクトという町並み&境内ライトアップ」をコラボレーションさせ、合わせて「さくらあと」と名付け開催します。具体的に、桜井市本町通り～琴平町の町家空間と来迎寺及び琴平神社の境内を利用し、現代アート展を開催します。また、多武峯街道沿い（立小路～南町～河西町）～図書館敷地～等々神社境内では、地場産業である「桧の曲げ輪を使った灯籠」を1週間並べます。



このイベントの目的は、町家と歴史的な街道の良さを発見・再発見し、空き町家の無い、良好な町並み景観と快適な生活できるよう、文化意識と郷土愛を育みながら、生業のあるまちづくりを目指しています。

○プロジェクト3；まほろばナビゲーター 記紀万葉プロジェクト(その2)

現在、桜井市には多様な観光客が訪れていますが、その課題は、「泊るところが不足している。食べるところが少ない。ゴミは落とすがお金が落ちない。自分たち目線で来訪者目線になっていない。」等など、よく耳にします。

そこで、来訪者の視点で考えるために「よそ者、若者の声を聞く」ことが重要だと考え、明治大学副学長の藤江先生にご協力いただき、ターゲットを独身女性グループに想定し、卒業生である10名の東京で働く日本人OLと中国人OLの30代前後の方々に、モニターとして2泊3日で桜井に来ていただき、アンケートをいただきました。

アンケートの一部紹介

●大神神社、酒の神様、三輪山がこんなにも歴史があり、パワーのあるところだと知らなかったが、祈祷体験が良かった。恋愛成就を願う人々のツアーの一環としていれてみては？時間に限りのある観光客にとっては、もっとポイントを絞った案内で良いと思う。

●談山神社の良い点は、建物が素敵、中に入れるのはよい、緑の効用と空気に癒される、交通の便の悪さが欠点。

●一番感動したのは長谷寺だった。大観音尊像の荘厳さにも圧倒されたが、朝の勤行の様子を拝見できたのが忘れられない体験だった。ぜひまた訪れたいと思う。

●ミニツアー企画、たとえば「長谷寺朝の修行見学、朝食つき」お客様が泊っている場所までの送迎と、旅館宿泊と朝食をセットにする。「大神神社ツアー、昼食付き」奥の間含み、神主さんの説明付ガイドとそうめんのランチをセットにする。希望者は祈祷も受け付け。「パワースポット巡り」点在するパワースポットを車で回る。

●若い人には難しい、あるいはなじみがない「万葉集」「和歌集」を4コマ漫画をとりいれながらパンフレット化し、散策コースをつくる。現在のパンフレットがあればこれもと多すぎて、もっとコンパクトにまとめられては？

●三輪そうめん、恋ソーメンよかった、恋愛成就にあやかる。地酒にあうおつまみになるものが欲しい、チーズ、ごま豆腐、ソーセージなど、地元で美味しいパンやケーキなどがあれば食べたい。黒豆茶は、健康ブームでよかった。こんにゃくは、田楽付きで、持ち歩いて食べられて美味、お守りは、雑誌にパワースポットとして掲載された大神神社のウサギのお守りは、雑誌効果で売れると思う。今回、陶芸、ガラス工芸など見かけませんでしたが、あれば体験してつくってみたい。

●三輪に天然の温泉がなくても、露天風呂があれば、旅行の疲れを癒したり、リラックスしたりすることができます。(中国人にとって、天然の温泉など拘りはそこまで強くないです)露天風呂の雰囲気 が最も大切だと思います。天然の柿の葉とかいれて、柿の葉湯とかすれば、温泉に引けを取らないと思います。

既に「まほろばナビゲーター」に先駆け、今西酒造が歴史体験ツアーに取り組んでいます。今西酒造が経営する三輪座カフェのスタッフ（地元の主婦）は、販売だけでなく観光案内もできるよう自ら勉強し、観光カリスマからの教育も受け、「うま酒三輪の歴史体験ツアー」の案内人として活躍中です。参加した観光客から「地域の人とのふれあいがあり、神社・酒蔵以外にも食事処や土産物店にも連れて行っていただける。」と人気が高まりつつあります。意外と地元の人には知られていませんが、国からも「地域循環する仕組みとしてモデルになりつつある。」と評価されつつあります。このように、桜井が今チャンスなことは、今西酒造のような次世代の地場産業（木材、地酒、銘菓、そうめん等）経営者の息子たちが、家業を継ぐために、他地域で経験したあと、帰ってきていることです。活躍する彼らの共通点は、既存概念にはとらわれず、どんどん前が出る力を持っていることです。これらの状況を踏まえ、今回のまほろばナビゲーターは、外の声（若者・よそ者）に耳を傾け、新たな観光ガイド育成を市民自らが学び育てることが大切だと思います。どうか会員の皆様方にも何卒ご支援よろしくお願いします。〈以下次号へ続く〉



事務局だより

- 7月の常任理事会は7月20日（土）午後1時30分より「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）で行います。
- 『前衛短歌・俳句をよむ一発想の楽しみー』 開催のお知らせ
日時 7月27日（土）午後1時30分
場所 まほろばセンター第1研修室
講師 談山神社宮司：長岡千尋氏
主催 うるわしの桜井をつくる会文化部 **参加費無料**

お知らせ

図書館友の会の7月読書会は「少年H：妹尾河童著」です。これは8月中に映画化されます。また作者妹尾河童氏の講演会が橿原市で予定されています。

日時 7月23日（火）午後1時30分から

場所 まほろばセンター第1研修室

友の会会員以外の参加も歓迎します。

問い合わせ先

浅川肇：090-1961-6345

差別をなくす市民集会

7月6日（土）桜井市民会館に大道芸のワールドチャンピオン「ちゃんへん」さんが講師となり、在日ゆえに幼年期よりいじめに苦しめられた体験。国籍を奪われた在日一世の祖父母の悲惨さ。アメリカで出会った黒人少年のラップにより、言葉・音楽による内面の伝達に気づいた話など感銘深い話でした。特にコマを天井に届きそうになるまで跳ね上げる等のジャグリングの高度な演技の連続は会場の参加者800名を魅了しました。終わりの賑やかなラップ音楽もさることながら、その歌詞は泣き笑いの人生。しかも、それに負けない逞しさがあがり、一段の拍手で盛り上がるうちに閉会となりました。通常、こうした催しにありがちな、途中退場者は、今回は一人も無く、画期的な盛況でした。



編集後記 早くも梅雨明けとなり、早速猛暑を浴びることとなりました。紙面を借りて暑中お見舞い申し上げます。暑いさ中の参議院選挙ですが、現政権は原発再稼働や改憲を目ざしていて、世論調査では反対が過半数のようだが、投票は現政権が圧倒的だという。ねじれているのは日本人そのものだろうか。政治談義になると故芝房治さんが懐かしい。
(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345